

(3) 個別の教育支援計画 (例)

I フェイスシート				
氏名		性別		生年月日
住所		電話番号		
関係施設				
主障害		併せ有する障害		
診断名				
療育手帳	( . . . 交付)	身体障害者手帳	( . . . 交付)	
精神障害者保健福祉手帳	( . . . 交付)			
保護者氏名			緊急連絡先	:
住所				
家族構成	家族構成図		氏名	生年月日・学年
				続柄
出産前後の状況	時期	項目		備考
	胎生期			
	出生期			
	乳幼児期			
療育の状況	療育機関名		期間	療育内容
前籍校園の状況	学校園名		期間	備考
医療に関わる特記事項				
生育歴に関わる特記事項				

#### (4) 個別の指導計画(例)

##### 個別の指導計画 (年間・A児)

##### 2年保育4歳児(自立)〈一部抜粋〉

期間	I期(4月~5月)	II期(5月中旬~6月)
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の身支度は自分で進んでする。</li> <li>巧技台の二本橋は教師の手を持って喜んで渡る。</li> <li>サインペンで絵を描き、教師が「これなに？」と尋ねると「車」などと答える。</li> <li>「これホットケーキ」と言いながら小麦粉粘土を丸める。</li> <li>物の数を喜んで数える。</li> <li>自分の思いの一部を単語で表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かな場を好み安定して過ごす。</li> <li>ブランコは一人に乗れるが、こくことはできない。</li> <li>初めてのこと(検診など)に不安を感じる。</li> <li>本児が単語で話したことに対して教師が「～が～だね」と文章にして返すとそれを真似て言い直す。</li> <li>手や足が汚れることを嫌がる。</li> <li>やりたくないことを「～は違う」という言葉で表現する。</li> </ul>
発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活に慣れ、生活の仕方を知る時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな遊びに興味をもってやってみようとする時期</li> </ul>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことを自分でしようとする。</li> <li>体を揺さぶる遊びを楽しむ。</li> <li>いろいろな素材に触れ、感触を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味をもった遊びを自分なりにやってみようとする。</li> </ul>
生活に必要な習慣や態度・操作する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>園での生活の流れを知る。</li> <li>苦手な物でもがんばって食べてみようとする。</li> <li>ジャンプやブランコなど、体を揺さぶる遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の安定して過ごせる場を拠点としながら、安心して園生活を過ごす。</li> <li>目的物に向けて投げるなど、協応動作を身につける。</li> <li>スコップを使って砂遊びをしたり、跳んだりして、足を踏ん張る力や跳躍力ををつける。</li> </ul>
知的・好奇心・判断力・探究心	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じたことを自分の言葉で表現する。</li> <li>独り言で思ったことを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごっこ遊びなどでの簡単な言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>水の流れや球の転がっていく様子などを目で追いながら物の動きを捉える。</li> <li>「～だけど……」ということを言葉と行動をつなげて理解する。</li> </ul>
自己表現力・自己責任力	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師に聞いてほしいことを話す。</li> <li>絵の具や小麦粉粘土、スライムなどいろいろな素材の感触を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚れることに抵抗を感じず泥の感触を楽しんで遊ぶ。</li> <li>水の気持ちよさを感じて遊ぶ。</li> <li>リズムに合わせて体を動かしたり音楽を聴くことを楽しむ。</li> <li>遊んだ場を教師と一緒に片付けようとする。</li> <li>周りの状況を捉えながら教師に促されて少しずつ自分の世界を広げていく。</li> </ul>
連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園までの家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、安心感をもってもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの生活で見えてきた課題を伝えたり、保護者が園での様子を通して感じておられることなどを聞いたりする。</li> </ul>

##### 2年保育4歳児(共存)〈一部抜粋〉

期間	I期(4月~5月)	II期(5月中旬~6月)
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の側に寄ってきたり、後を追って外に出てきたり、教師に親しみをもって話しかけたりする。</li> <li>絵本や紙芝居などをみんなと一緒に楽しんで見る。</li> <li>教師の言葉かけに応えたり、挨拶したりする。</li> <li>スケーターに乗れるようになったことを喜び、もっと乗りたいと思う。</li> <li>異常に気持ちが高ぶったり、逆に友達との些細なトラブルでパニックになったりすることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大勢の友達に寄ってきたり、にぎやかな場に行ったりすることを怖いと感じる。</li> <li>教師が側にいることで安心して過ごす。</li> <li>近くで泣いている友達のことをじっと見たり教師に伝えようとする。</li> <li>絵本を見たり歌ったりするときはクラスの中に入ることができる。</li> </ul>
発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師と一緒にいることで安心する時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数の友達と安心して一緒にいることができる時期</li> </ul>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師に親しみを持ち、一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数の友達と安定した気持ちで過ごす。</li> </ul>
人々と共に生活を楽しむこと喜び	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師と一緒にいることで安心して生活する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数の友達が側にいても嫌がらず、安定した気持ちで過ごす。</li> </ul>
人への関心	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人(教師、同じ場にいる友達)に話しかけたり話しかけられることを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな友達に関心をもつ。</li> <li>教師や友達に関心を持ち、自分のペースで関わる。</li> </ul>
相手や手への理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の名前やいろいろな友達の様子を知る。</li> </ul>
自己肯定感	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるようになったことを喜び、もっとやってみたいと思う。</li> <li>教師に認められることを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のしていることやできたことを喜んで教師に伝えようとする。</li> </ul>
自己抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>片付けた方がいいことを知る。</li> <li>嫌だと思ふ気持ちを教師に伝え安心する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片付けた方がいいことが分かり、教師と一緒に片付けようとする。</li> <li>教師に促されて、してはいけないことなど少しずつ我慢することができる。</li> </ul>
協力する態度や認め合う喜び	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなと同じ行動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に物を選んだり、行動したりすることを楽しむ。</li> </ul>

個別の指導計画（期間・A児）〈一部抜粋〉 ・ 幼児の姿 ○ねらい ◎援助、環境

2年保育 4歳児		1期	(4月～5月上旬)	
自立		共存		
生活に必要な習慣や態度 操作する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園後かばん、帽子をロッカーにかける。</li> <li>菜の花のごま和え、ヨモギ団子は食べない。</li> <li>お茶は熱いと少し躊躇するが飲む。</li> <li>巧技台の二本橋は教師の手を持って喜んで渡る。</li> <li>○簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。</li> <li>○園での生活の流れを知る。</li> <li>○苦手な物ががんばって食べてみようとする。</li> <li>○からだを動かして遊ぶ。</li> <li>◎自分でできた事を認めたり進んでできた姿を認めていく。</li> <li>◎偏食について好き嫌いをなく食べることの大切さに気づけるような教材を工夫していく。</li> <li>◎ブランコ、滑り台のスリルを感じたり、ジャンプなど繰り返し疲れるまでやる運動遊びを取り入れる。</li> </ul>	人々と共に生活することを喜び、楽しむ感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の側に寄ってきたり、後を追って外にいたり教師に新しみを感じて話しかけてくる。</li> <li>・絵本や紙芝居などをみんなと一緒に楽しんでみている。</li> <li>・手遊び（アンパンマン）や（パンやさん）をみんなと喜んでする。</li> <li>○教師や友達と一緒にいることを嫌がらずに幼稚園に来る。</li> <li>◎クラスみんなで楽しめる簡単なゲーム（落ちた落ちた）（ロンドン橋）などを楽しむ場を設ける。</li> <li>◎手をつないだり、スキンシップを図りながら安定した気持ちで過ごせるようにする。</li> </ul>	
		人への関心・共感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の言葉かけに答えたり挨拶（おはよう）（さよなら）をする。</li> <li>○自分の思いを身近な人（教師・同じ場にいる友達）に一方向的に話す。</li> <li>◎一緒に楽しめたことや遊べたことの気持ちを教師が言葉で表しながら、関わる。</li> <li>◎体を動かすことで一緒に関われる遊びの場を用意する。</li> </ul>	
		相手への思いやり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クラスの人を知る。</li> <li>◎たまたま同じ場所で遊んだり、部分的にかかわっている場を通して、同じクラスの人を知っていくきっかけにしていく。</li> </ul>	
		自己肯定感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とスケーターに乗って園庭を走る。</li> <li>○スケーターに乗れるようになったことを喜び、もっと乗りたいと思う。</li> <li>◎楽しそうに乗っている姿を見ながら、上手に乗れるようになったね、と声をかけ共に喜ぶ。</li> </ul>	
知的・好奇心・探求力 言葉・認知力・思考力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サインペンで絵を描き教師が「これは何？」と尋ねると「車」などと答える。</li> <li>・小麦粉粘土は手で丸めたり握って楽しむ。</li> <li>・「今日は雨が降って大変だったね」と言う。「傘」と答える。</li> <li>・手遊びの繰り返し言葉を覚えて「おじさんパンちょうだい、はいどうぞ」を何度も言う。</li> <li>・紙芝居のケーキの上ののっているイチゴの数を「1、2、3、4、5」と教える。</li> <li>○自分の思ったことをどんどんと自分なりの言葉で伝えようとする。</li> <li>◎本児の発した単語を状況に合わせた言葉や文章にして自然体で伝えていく。</li> <li>◎「～が～している」というような身近な生活の場面を絵カード（紙芝居）のようなものに表し、繰り返し遊びながら教師が言葉にして聞かせる。</li> </ul>	自己肯定感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂を入れてごちそうにしていたフライパンを隣に座った子に取られるが何も言えず教師の顔を見る。</li> <li>・異常に気持ちが高ぶったり、逆に恐怖を感じてパニックになったりすることがある。</li> <li>・遊んだ後の片づけは、あまり意識がない。</li> <li>○嫌だと思ふ気持ちを教師に伝え安心する。</li> <li>○使った物や遊んだ場を片づけた方がいいことを知る。</li> <li>◎本児の表情やしぐさなどから気持ちをくみ取り言葉で代弁したり一緒に言ったりする。</li> <li>◎パニックになったときには、教師が受け取め静かな場所でスキンシップを図りながら気持ちが落ち着くまで寄り添う。</li> <li>◎教師と一緒に片づけたりまわりの様子を知らせながら使った物や遊んだ場を片づける事に気づかせていく。</li> </ul>	
		自己表現力・感覚・周囲の状況を捉える力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子が紙に自分の名前を書いているのを隣で見ていて自分の名前をと言いながらまねをする。</li> <li>・ブロックを持って同じ場の友達と何かになったイメージで戦ってぶざけ合う。</li> <li>・泣いている友達のことやタオルが落ちているなど教師に知らせようとする。</li> <li>・手が汚れることを嫌がる。</li> <li>○感触遊びを楽しむ。</li> <li>○物の動きを目で追う。</li> <li>◎生活の中で自然にイメージがもてるような遊びや、開放的な気持ちになれるような感触遊び（砂遊び・小麦粉粘土・スライム・絵の具）を見た目のきれいさを大事にしながら存分にかかわれるようにする。</li> <li>◎最初と最後がわかったり、目で追って遊んだりできるようスタートとゴールがある迷路遊び等を取り入れていく。</li> </ul>	自己抑制
		協力する態度や認め合う喜び		

無藤隆・神長美津子・栢植雅義・河村久『「気になる子」の保育と就学支援 幼児期におけるLD・ADHD ・高機能自閉症等の指導』東洋館出版社 2005 PP.57-59 より引用

個別の指導計画（年間・A児をとりまく幼児）〈一部抜粋〉  
2年保育4歳児

期間	I期（4月～5月上旬）	II期（5月中旬～6月）	III期（7月）
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児と一緒にスケーターにのって園庭を走ることを喜ぶ幼児がいる。</li> <li>・偶然A児の隣に座ったりするとA児にくっつきに行ったりふざけあう姿が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児と一緒に話をしながらお弁当を食べる。</li> <li>・A児のコーナーに入って一緒にスライムをしたり、A児の宅配便を楽しそうに見たりする。</li> <li>・「なんでAちゃんお部屋にこないの」とA児を気にかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水鉄砲をしながらA児に水をかけたり、かけられたりすることを楽しむ。</li> <li>・砂あそびやプールあそびをA児と一緒に全身で楽しむ。</li> <li>・「Aちゃん、Aちゃん」と声をかけたり、呼んだりする。</li> </ul>
発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児の存在を知る時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児の存在に関心をもち、関わっていかうとする時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児に親しみをもつ時期</li> </ul>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偶然に出会ったA児の存在を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまたま同じ場や隣にいるA児のことに関心をもち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児の存在を知って関心をもち親しみを感じる。</li> </ul>
人々と共に楽しむこと、喜びを生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偶然となり同士に座ったA児と手をつないだり、一緒に手遊びを遊ぶ。</li> <li>・一緒に笑ったり楽しい雰囲気と共に感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児と同じ事をしたり、同じ物を持つことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児も同じクラスの人という思いをもつ。</li> <li>・同じ場で体を動かしたり、楽しい雰囲気を感じながらA児との触れあいを楽しむ。</li> </ul>
人への関心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児の名前を覚えたり、名前を呼んでみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児と一緒に遊びたいと思ったり、隣に座りたいと思う。</li> <li>・A児に話しかけたり、話しかけられることを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児のしていることを見たり聞いたりして興味をもって自分もやろうとする。</li> </ul>
相手の思いやり・相手への理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児と生活をしながら、ありのままのA児のことを知っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児のことを気かけながらその都度A児の事を知ったりA児の喜ぶことをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児の様子やしていることに関心をもち、同じことを一緒にしようしたり、応援したりする。</li> </ul>
自己肯定感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泣いているA児のことを気かけ、教師に認められることを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児の事を気かけたり、A児の存在を意識して声をかけることで、教師から認められて嬉しく感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中でA児の思いに触れ、一緒にできることはしようとする。</li> </ul>
自己抑制			<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児の気持ちや思いを聞いたり自分の気持ちを言ったりする。</li> </ul>
協力する態度や認め合う喜び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師がA児を認める姿を模倣し、自分ができることだけでなく、A児ができることも認め、喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児と一緒にがんばったり一緒にできたことを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児と一緒に物を運んだり同じことをしたりして「一緒だね」ということを感じる。</li> </ul>

<参考文献>

研究開発実施報告―障害のある幼児と暮らしながら、自立と共存をめざし、生きる力や福祉の心を育てる教育課程、指導方法の研究開発―大津市立瀬田北幼稚園

無藤隆・神長美津子・柘植雅義・河村久『「気になる子」の保育と就学支援 幼児期におけるLD・ADHD・高機能自閉症等の指導』東洋館出版社 2005 PP.57-59 より引用

個別の指導計画(例) ( 年 月 日作成) 幼稚園

幼 名 (年 月 日生) 担 名	基本的な生活習慣 (生活・健康面 身辺自立等)	運動・作業 (粗大運動・ 微細運動等)	人との関わり 集団参加	言語・表現 (理解力・ 意思表示等)	情緒
幼 児 の 実 態	良いところ				
	気になるところ 支援が必要なところ				
	できそうなこと 手がかり				
保護者の願い					
目標及び 支援の方針					
支 援 案	ねらい				
	指導内容				
評 価					

「島根県松江市教育委員会作成」

本児の実態	健康	表現	環境	人のかかわり	その他
<p>いいところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達を追いかけて遊ぶ。</li> <li>「よーいどん」の遊びが好きである。</li> <li>弁当を残さず食べる。</li> <li>衣服の着脱など、できないと「して」と要求する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「先生」と呼びかけ、話しかけようとする。</li> <li>「ちがう」「おして」と言うなど、言葉が増えた。</li> <li>うれしい時は、跳びはねて遊ぶ。</li> <li>手遊びや歌を歌う時は、喜んで参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の読み聞かせの時、自分の関心のある物(車、番号など)を指差し、喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の名前を覚えて呼ぶことができる。</li> <li>本児が持っている物を友達に「ほしい」と言うと、相手に渡すことができる。</li> <li>悲しい時に教師に抱きついたりするようになる。</li> </ul>	
<p>支援を必要としているところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊んだ後の片付けの意識が低い。</li> <li>一日の流れがわかりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話しかけてくるが、聞き取れないことがある。</li> <li>困った時は物を投げたり教師に抱きついたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉だけでは伝わりにくいことがある。</li> <li>集団の中では落ち着かないで、飛び出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味をもった物をたいたり落としたりすることを楽しんでいるが、それを見た他の子どもは、本児の行為をとめようとして本児をたいたり押しついたりする時がある。</li> </ul>	
<p>指導・支援の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達が走っていると、追いかけてうとうとする姿がみられる。教師も共に遊びながら体を十分動かして遊ぶ経験ができるようになる。</li> <li>一日の流れの中で絵カードを使い、活動の見通しがもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に遊びながら本児が伝えたいことを探っていくながら簡単な言葉でかえしていく。</li> <li>危険なことは、ことばだけでなく、目に見える形で知らせていく。</li> <li>学級活動でたくさん手遊びや歌を取り入れ、楽しい気持ちをもてるようにする。</li> <li>☆リズムを楽しむ遊び 「ミックスジュース」「イップニップジャンプ」 ☆歌と動きを楽しむ歌 「お花がわらった」「みつけたの だあれ?」「ポテトの歌」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛乳や片付けなどが視覚的にとらえられるよう、絵カードを作って掲示する。</li> <li>本児が理解しやすい内容の絵本や紙芝居を選択したり、身体表現を話の中に組み入れたりして楽しむことができるようにする。</li> <li>指導員と1対1で遊んだり特別支援指導教室で少人数で遊んだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抱きついてくる行動がみられるので、くすぐりこや抱っこなどの遊びを取り入れ、触れ合う機会を多くする。</li> <li>日児の思いを周囲に知らせると同時に周囲の子どもの気持ちも日児に伝え、互いに理解しあえる関係を育てていく。</li> </ul>	
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>追いかけて遊ぶことや、つかまわたりして教師と共に遊ぶことで走ることに興味をもち、繰り返し楽しむことができたと思う。</li> <li>絵カードを示したことが遊んだ後の片付けや弁当の片付け、集め時等を意識づけることにつながったと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共に遊びながら、本児が受けとめやすいよう簡潔な言葉(二語文)で話しかけるように心がけたことが、言葉が増えたことにつながったと思う。</li> <li>リズムに変化があるフォークダンスや、身体表現しながら歌を活動の中に取り入れることで本児が友達と学級活動を楽しむことができた。</li> <li>友達の行動に対しても、自分から「ぶ、ぶー」と言っ指で×をつくっていけないことを伝えようとするなど、ずいぶん理解できるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛乳の時間を知らせる時絵カードを掲示したり、避難訓練時の火事の話をする時、ペープサートを使うなど、視覚からも伝えていくようにしたこと、理解しやすかったのではないかと、紙芝居や絵本を見る時、興味がある物に短時間集中するが、途中でその場から離れてしまう。内容が理解できにくい時は指導員が個別にかかわり、本児が理解しやすい言葉で伝えていく必要がある。</li> <li>一対一で指導員と遊ぶことで落ち着いてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くすぐりこや抱っこ遊びなど、触れ合う遊びを「もう1回」と言っても喜んだ。</li> <li>この遊びは単純で予想がつく遊びであるため、本児が興味をもったと思われ、今後も簡単に理解しやすい遊びを取り入れていきたい。</li> <li>「Tちゃんは〇〇したいんだって」と本児の思いを他の子ども達に知らせることで、周囲の子どもとの気持ちの行き違いが少なくなっただけではないか。今後も周りの子どもとのつながりを願って、言葉のかけ方など工夫していきたい。</li> </ul>	

## 2 参考になる書籍・教材

### (1) 診断基準について

- ① DSM-IV-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル, アメリカ精神医学会 (高橋三郎他訳), 医学書院 2002
- ② 上野一彦 海津亜希子 服部美佳子『軽度発達障害の心理アセスメント』日本文化科学社 2005

### (2) 障害と対処法の理解のために

- ① 無藤隆・神長美津子・柘植雅義・河村久 (編)『幼児期における LD・ADHD・高機能自閉症等の指導「気になる子」の保育と就学支援』東洋館出版社 2005
- ② 小野次郎・榊原洋一 (編)『教育現場における障害理解マニュアル』朱鷺書房 2002
- ③ トニー・アトウッド (著) 富田真紀他 (訳) 『ガイドブック・アスペルガー症候群』東京書籍 1999
- ④ 杉山登志郎他『高機能広汎性発達障害』ブレーン出版 1999
- ⑤ 吉田友子『「その子らしさ」を生かす子育てー高機能自閉症・アスペルガー症候群ー』中央法規出版 2003
- ⑥ 佐々木正美 (監) 宮原一郎 (画)『自閉症児のための絵で見る構造化ーTEACCHビジュアル図鑑ー』学習研究社 2004
- ⑦ 中根晃『自閉症児の保育・子育て入門』大月書店 1996
- ⑧ 鯨岡峻 安来市公立保育所保育士会『障碍児保育・30年ー子どもと歩んだ安来市公立保育所の軌跡ー』ミネルヴァ書房 2005
- ⑨ 二宮信一『ココロとカラダほぐしあそび』学習研究社 2005

### (3) 親・本人による著作

- ① ドナ・ウィリアムズ 河野万里子訳『自閉症だったわたしへ』新潮社 1993
- ② テンプル・グランディン カニングハム久子訳『我, 自閉症に生まれて』学習研究社 1994.
- ③ ケネス・ホール (著) 野坂悦子 (訳) 『ぼくのアスペルガー症候群ーもっと知ってよ ぼくらのことをー』東京書籍 2001
- ④ 明石洋子 『自立への子育てー自閉症の息子と共にー』ぶどう社 2003
- ⑤ 奥平綾子@ダダ母『レイルマンー自閉症文化への道しるべー』OMEMEDO 2002
- ⑥ 愛育養護学校 (幼児期を考える会)『親たちは語る 愛育養護学校の子育て・親育ち』ミネルヴァ書房 1996

### 3 相談機関等の一覧

(1) 特別支援教育アドバイザー(臨床心理士等)の派遣や専門家による子育て相談を実施しています。

名 称	郵便番号	住 所	電話番号	備 考
(社)兵庫県私立幼稚園協会	650-0012	神戸市中央区北長狭通4-3-13	078-331-6836	特別支援教育アドバイザーの派遣等
(社)神戸市私立幼稚園連盟	651-0062	神戸市中央区坂口通2-1-18	078-360-1145	専門家による子育て相談等

(2) 特別な支援が必要な幼児児童生徒に関する教育相談等を行っています。

名 称	郵便番号	住 所	電話番号	備 考
県立特別支援教育支援センター	651-0062	神戸市中央区坂口通2-1-18	078-222-3604	
ひょうご学習障害相談室	651-0062	神戸市中央区坂口通2-1-18	078-222-3604	
その他各市町の窓口にお問い合わせください。				

(3) 健康福祉事務所(保健所)

障害児やその家族に対して市町と協力し家庭訪問や相談を行っています。

名 称	郵便番号	住 所	電話番号	備 考
芦屋健康福祉事務所(保健所)	659-0065	芦屋市公光町1-23	0797-32-0707	
宝塚健康福祉事務所(保健所)	665-0034	宝塚市小林3-5-22	0797-72-0054	
伊丹健康福祉事務所(保健所)	664-0898	伊丹市千増1-51	072-785-7462	
川西健康福祉事務所(保健事務所)	666-0017	川西市火打1-22-8	072-757-4220	
三田健康福祉事務所(保健事務所)	669-1531	三田市天神1-10-14	079-562-8854	
加古川健康福祉事務所(保健所)	675-0017	加古川市野口町良野1740	079-422-0003	
明石健康福祉事務所(保健所)	673-0892	明石市本町2-3-30	078-917-1131	
高砂健康福祉事務所(保健事務所)	676-0015	高砂市荒井町紙町1-52	079-442-2991	
社健康福祉事務所(保健所)	673-1431	加東市社字西柿1075-2	0795-42-9367	
西脇健康福祉事務所(保健事務所)	677-0014	西脇市郷瀬町666-5	0795-22-2666	
三木健康福祉事務所(保健事務所)	673-0423	三木市宿原字寺ノ前70	0794-83-3023	
加西健康福祉事務所(保健事務所)	675-2303	加西市北条町古坂字向山1173-14	0790-42-0266	
福崎健康福祉事務所(保健所)	679-2204	神崎郡福崎町西田原235	0790-22-1234	
龍野健康福祉事務所(保健所)	679-4167	たつの市龍野町富永1311-3	0791-63-5142	
赤穂健康福祉事務所(保健所)	678-0239	赤穂市加里屋98-2	0791-43-2321	
佐用健康福祉事務所(保健事務所)	679-5301	佐用郡佐用町佐用3133	0790-82-2621	
山崎健康福祉事務所(保健事務所)	671-2573	宍粟市山崎町今宿字前田5	0790-62-9515	
豊岡健康福祉事務所(保健所)	668-0025	豊岡市幸町7-11	0796-26-3662	
新温泉健康福祉事務所(保健事務所)	669-6747	美方郡新温泉町三谷389-1	0796-82-3161	
和田山健康福祉事務所(保健所)	669-5202	朝来市和田山町東谷213-96	079-672-6870	
柏原健康福祉事務所(保健所)	669-3309	丹波市柏原町柏原688	0795-73-3767	
篠山健康福祉事務所(保健事務所)	669-2341	篠山市郡家451-2	079-552-7456	
洲本健康福祉事務所(保健所)	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799-26-2064	
北淡路健康福祉事務所(保健事務所)	656-2131	淡路市志筑110-1	0799-62-0181	
南淡路健康福祉事務所(保健事務所)	656-0501	南あわじ市福良甲512-154	0799-52-0099	



## (4) こども家庭センター(児童相談所)

児童やその家庭に対して専門的な知識・技術による相談・判定を行うとともに、療育手帳の交付を行っています。

名 称	郵便番号	住 所	電話番号	備 考
中央こども家庭センター	673-0021	明石市北王子町13-5	078-923-9966	
中央こども家庭センター(洲本分室)	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799-26-2075	
西宮こども家庭センター	662-0862	西宮市青木町3-23	0798-71-4670	
西宮こども家庭センター(柏原分室)	669-3309	丹波市柏原町柏原688	0795-73-3866	
西宮こども家庭センター(尼崎駐在)	661-0024	尼崎市三反田町1-1-1	06-6423-0801	
川西こども家庭センター	666-0017	川西市火打1-22-8	072-756-6633	
姫路こども家庭センター	670-0092	姫路市新在家本町1-1-58	079-297-1261	
豊岡こども家庭センター	668-0025	豊岡市幸町1-8	0796-22-4314	

## (5) ひょうご発達障害者支援センター

発達障害者とその家族に対し相談や療育・就労支援を行っています。

名 称	郵便番号	住 所	電話番号	備 考
ひょうご発達障害者支援センタークローバー(センター)	671-0122	高砂市北浜町北脇519	079-254-3601	
ひょうご発達障害者支援センタークローバー(芦屋ランチ)	659-0015	芦屋市楠町16-5	0797-22-5025	
ひょうご発達障害者支援センタークローバー(加西ランチ)	675-2202	加西市野条町86-93	0790-48-4561	

## (6) 障害児(者)地域療育等支援事業

在宅の障害児(者)やその家族に各種の相談や療育指導を実施しています。

名 称	郵便番号	住 所	電話番号	備 考
砂子療育園	663-8131	西宮市武庫川町2-9	0798-47-9959	重症心身障害児施設
たじかの園	661-0024	尼崎市三反田町1-1-1	06-6423-0210	肢体不自由児通園施設
わかば園	663-8233	西宮市津門川町2-28	0798-34-3361	肢体不自由児通園施設
一羊園 (地域生活支援センタージョイント)	663-8214	西宮市津門大塚町1-38 すずかけ作業所3階	0798-23-6865	知的障害者入所更正施設
ななくさ清光園	663-8001	西宮市田近野町8-1	0798-56-1700	知的障害者入所更正施設
三田谷学園	659-0015	芦屋市楠町16-5	0797-22-5025	知的障害児施設
すみれ園	665-0822	宝塚市安倉中3-2-2	0797-86-7284	肢体不自由児通園施設
ゆうゆう	664-0006	伊丹市鴻池字南畑1-2	072-777-7486	知的障害者通所授産施設
かるがも園	669-1356	三田市井ノ草808	079-568-1955	知的障害児通園施設
川西さくら園 (川西市障害児(者)地域生活支援センター)	666-0014	川西市小戸3-12-10	072-758-6228	知的障害児通園施設
大地の家	674-0051	明石市大久保町大窪2752-1	078-934-7769	知的障害者入所更正施設
あかりの家	671-0122	高砂市北浜町北脇504-1	079-254-3292	知的障害者入所更正施設
希望の郷	675-2202	加西市野条町86-93	0790-48-2521	知的障害者入所更正施設
のぎく療育園	679-1103	多可郡多可町中区牧野字国木谷183-1	0795-32-3246	重症心身障害児施設